

「多読の時間」について

1) 多読とは

多読は、文法や語彙を学習したり暗記したりせず、大量に外国語（ここでは外国語としての日本語）をインプットすることです。簡単なものから少しずつレベルを上げていき、母語に訳さず、日本語を日本語のまま理解できるようになることを目指します。辞書や教科書を使わず、大量のインプットで語彙や文法を自然に身につけ、楽しくたくさん読むことで「話す・聞く・書く」も含めた日本語力全体を伸ばす学び方です。

「やさしいから楽しく読める」を「楽しいからもっと読む」ことへつなげ、「読み手×本」の濃い時間を提供するサポートをします。

2) 多読の実践方法—4つのルール

以下の読み方のルールを守って楽しく読むことが肝要です。

- ①やさしいものから読む
- ②辞書をひかない
- ③わからない言葉は飛ばす
- ④進まなくなったらほかの本へ移る

ラウンジ所蔵図書、レベル別日本語多読ライブラリー「にほんご よむよむ文庫」（アスク出版）やJGR「多読文庫」（NPO 多言語多読）で、やさしいものからステップアップしていきます。朗読CDを聞きながら読む「聞き読み」も有効です。

学習者の好みにより、絵本・マンガ・児童書なども使えます。色々読んで、多くの場面と結びついた言葉を体に染み込ませることを目標とします。

3) 支援者は何をするか

- ・多読のルールをできるだけ守るよう促すこと
- ・教えたり説明したりせず、リラックスして読める環境をサポートすること
- ・一人一人の様子をよく見て、適切な読み物を勧めること
- ・読書の記録（各本裏表紙）を書いてもらったり、ステップアップカードや完読賞で励ますこと

☆あくまで学習者と本が主役。

☆面白ければ読む、つまらなければ読まない⇒支援者も楽しみましょう♪